

鯉の漁の仕方

5108T

1 テーマ設定の理由

おじいちゃんが鯉の漁をやっていたのでぼくは鯉のことを調べてみようとおもいました。それに、ぼくは鯉がすきなので、もっと調べてみたくなったからです。特に、震災後の鯉の水揚げ漁の変化がどのようなになったのかも、調べてみたいからです。また、いろいろなかつおの種類も知りたいし、月にどのくらい水揚げされるのかも知りたいと思ったからです。

鯉の生態やしぐみについて調べてみたいし、鯉はどのように日本にくるかや、巻き網漁ももっとくわしく調べてみたいからです。

2 研究内容

(1) 鯉のつるときの道具

道具はつり針やあみやつりざお
鯉をつるつり針

(2) 鯉のつり方、もしくはとりかた つり方

一本釣り 巻き網漁
鯉をつったりとったりする。



(3) 鯉の速く泳ぐ方法

鯉や鯖のように、高速で回遊する魚は、紡錘形の体で、力強く動かせる尾びれなどを持ちます。また、第一背びれや胸びれや腹びれをたたんで、水の抵抗を少なくすることもできるそうです。

赤い発達した筋肉も高速で泳ぐのに役立っているそうです。

鯉はゆっくり泳いだり減速するときは、ひれを立てます。逆に、速く泳ぐときは第一背びれや胸びれや腹びれをたたむそうです。

それから、鯉は死ぬと模様がはっきりとしてくるそうです。

(4) 鯉はどう回遊するか

鯉や鯖の仲間は大きな群れで主に外洋を回遊します。

だいきい独特の筋肉やひれなど、海中を高速で泳ぐとてもふさわしいからだをしています。日本の水産資源として、最も重要な魚です。

鯉がくるとのぼりがつおで、鯉がもどるともどりがつおといいます。

(5) 鯉船の写真



えさつう

えさつうの中は、生きた鰯が入っており、それをばらまいて鯉をおびきだしてとります。

(6) 包ちょうの種類（鯉節を作るとき）

おろし包丁 頭はなし包丁 せつき包丁 鯉切り包丁 みわり包丁

3 今後の課題

今後の課題として「水産資源を守るために、取り組んでいること」としました。「海の魚が減っている」という記事を見たからです。そこで、以前、漁船に乗せてもらった臼福さんと北かつさんに聞いてみることにしました。

「量を減らすことにちょっと不安になりました。だけど、これからは鯉をちがう場所から見ていこうとおもいます。あと鯉の水産資源には反対してしている人もいます。」

と話していただきました。

水産資源は減っているそうです。今まで漁業をしなかった国も輸出するため

に漁業をするようになって、たくさん捕るために、地引網漁が増え、小さな魚まで取りつくしてしまうこともあるからだそうです。

4 感想

鰹を調べて、いろいろな秘密や生体について知ることができてとてもよかったです。こんなに鰹について調べられて、とてもうれしかったです。鰹の速く泳ぐ方法や鰹の種類や鰹節を作る時の専用の包丁などを調べて、とてもおもしろいと思いました。

これからも鰹のことを調べていこうと思います。

調べていて、ぼくも一度、鰹の漁をやってみたいと思いました。気仙沼の市場には、鰹や鮪などの魚がたくさんあがります。いろんなおいしい食べ物があります。

たげど震災後、魚が急激に減りいろんな建物が流されてしまいました。今は海にブロックや砂を入れたふくろ積み重ね、修理されています。それに、いろんな建物も元にもどされてきました。ぼくたちはこのような工夫から復興できました。

それと、これから先も漁業ができるように、周りの国々と話し合いをする必要があると思いました。

協力してくれた人

家族 白福さん 北かつさん

調べた場所

リアス海岸

写真をとった場所

気仙沼湾